

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
南区子ども家庭支援対策事業		南・子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	-	-
<p>子ども虐待が発生してから児童相談所が中心的に対応してきた事後対応型から、子ども虐待の未然予防に力点を置く事前予防型にシフトするべく、地域の公民関係機関と連携のもと子育て世代の子ども虐待に対する意識のボトムアップをはかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、保護者を支援 令和2年4月から施行される改正児童福祉法に規定されている体罰禁止についての講演会を開催し、子どもの権利擁護の視点も含めて、不適切な養育に陥らないように啓発する。</li> <li>・身近な支援者を育成 地域の公民関係機関との連携により子育て世代に寄り添うことができる支援者を育成する。</li> <li>・積極的な関係機関との連携 地域関係機関と子ども虐待における共通の視点を持つことができるように支援する。</li> </ul>	<p>参加者へのアンケートによる満足度(満足)</p>	<p>92,9%</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
◎	<p>令和2年4月1日から児童福祉法が改正され体罰禁止となり、ますます子ども虐待について地域連携の中で子育て世代に広く知ってもらう必要がある。</p>	○	<p>子ども虐待の未然予防は行政だけではできない。ありとあらゆる連携を模索しながら事業を進めていく。</p>	○	<p>子どもの育ちを応援するよ！と題してポスター作製をしたが、子ども虐待防止とするよりも応援するという表現がよかったという区民の声も頂けた。</p>
④効率性		△	<p>他事業を展開するところに本事業の広報啓発もあわせていくことができれば、啓発の機会も広がるので、今後の課題としていく。</p>		
⑤自立発展性		総合評価			
○	<p>本事業の目的は子ども虐待の発生後の対応から未然に防止をすることにあり、区民の目線で区民自身の問題とできるような醸成が必要である。</p>	◎	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定していた行事のほとんどが実施できなかった。しかし下半期には塚スタイルで感染症対策をしっかりと講じて、密を避けるスタイルで実施できたものもあり、参加された市民からは高評価をいただいた。今年度はオンラインでの講演会や講座の開催にも挑戦した。オンライン講座に関してはアーカイブ配信がある講座の申し込みは多いが、リアルタイムのみの講座は参加者が少なくなる傾向がわかり今後の課題も見えてきた。</p>		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>令和2年度から南区役所子育て支援課は、子ども家庭総合支援拠点として体制が強化され、本事業が区役所の重点施策に位置づけられた。『子どもの育ちを応援するよ！』とテーマを掲げ、子ども虐待対応の事後対応型から、未然予防型にシフトするべく事業の実施、広報啓発に力を入れることとしたが、感染症拡大によって思うように事業の展開ができなかった。今年度から施行された改正児童福祉法の体罰禁止についても知ってもらえる機会を増やし、子ども虐待の未然予防の機運の醸成については次年度以降もしっかり取り組んでいく必要がある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、子ども虐待は子育て家庭にはどこにでもおこりうる状況となっている。このような状況の中だからこそ区役所ができることを地域関係機関とともに取り組んでいくことができるように子育て世帯が安心安全に地域で暮らしていくことができるように今後も取り組んでいく必要がある。なお、子育て支援啓発事業については次年度より本事業に吸収することとする。</p>				